

日本特別ニーズ教育(SNE)学会 2019年度中間集会(松本) 二次案内

皆様にはお元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。

日本特別ニーズ教育学会 2019年度中間集会の概要をお知らせいたしますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

2019年5月27日

日本特別ニーズ教育学会 2019年度中間集会
準備委員長 内藤千尋 (松本大学)

日時

2019年6月2日(日) 11:00~16:00 (10:30受付開始)

会場

松本大学キャンパス (8号館)

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

* 松本電鉄上高地線「北新・松本大学前駅」徒歩2分

* JR松本駅からタクシーで約10~15分

* 駐車場あり (限りがありますのでできる限り公共交通機関をご利用ください)



日 程

9:00~11:00 【理事会・編集委員会】 8号館2階 824教室

10:30 受付開始

11:00~12:55 【若手チャレンジ研究会】・・・8号館1階 812教室

学部・専攻科・大学院生、現職教師等による研究デザイン・実践研究発表（卒業論文・専攻科修了論文・修士論文・博士論文等の研究デザイン発表、実践研究発表等）を行い、それぞれの研究を更に深めていく・進めていくために有効な議論の場にしていきたいと考えております。研究歴がまだ浅い方々のチャレンジを応援する企画です。ぜひ皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

コーディネーター 田中 謙（日本大学）

コメンテーター 小野川文子（北海道教育大学）

11:00~11:05 代表理事挨拶・企画説明

11:05~11:25 田中裕己（東京学芸大学特別支援教育特別専攻科）

社会的養護と発達困難を有する子どもの発達支援

—全国児童心理治療施設及び併設分校・分教室調査を通して—

11:25~11:45 成末昂矢（和歌山大学大学院教育学研究科特別支援教育専攻）

知的障害のある人の美術活動に関する研究

—教育と福祉を中心とした多角的分析—

11:45~12:05 柴田康平（東京学芸大学教職大学院特別支援教育高度化プログラム）

自閉スペクトラム症の児童生徒の聴覚的言語理解における問題と関与する

要因の検討

12:05~12:25 草野真輝（東京学芸大学教職大学院特別支援教育高度化プログラム）

知的障害児のプランニング課題解決における他者介在の心理的影響に関する

研究

12:25~12:45 能田 昂（尚絅学院大学・東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程）

近代日本における災害救済と障害・疾病等を有する子どもの特別教育史研究

12:45~12:55 討論・講評

13:00～16:00 【基調講演・パネルディスカッション】・・・8号館1階 811教室

「本人・当事者の心から特別ニーズ教育を考える」

現代の学校教育や地域生活支援では障害・診断の有無に係らず、多様な発達困難を有する当事者のニーズに応じた発達支援が求められています。基調講演では、当代一の「当事者の通訳・語り部」である宮下智氏（社会福祉法人明星会理事長）をお招きし、続くパネルディスカッションを通して、当事者の声や支援ニーズをもとにした生活支援・発達支援のあり方を検討していきます。

13:00～14:30 基調講演 社会福祉法人明星会理事長 宮下智

基調講演概要

障がい者支援施設明星学園には、毎年のように高等部卒業を前にした、いわゆる強度行動障がいと呼ばれる方々の入所の相談がある。皆さん、18才、思春期のど真ん中、本来なら人生の中で一番輝いていなくてはいけない時期での入所の相談である。本人を前にして私は話しかける。「ずっと頑張ってきて疲れちゃったよね…。ちっとも自分の気持ちが伝わらないって、ずっと怒ってばかりだったんだよね。明星学園は、疲れちゃった人が休むところなんだよ。休んでいると、なんだか自然に力が湧いてきて、本当の気持ちを伝えたくなるんだ。イヤなことはイヤって。でもそれを言っても明星学園では、誰も叱ったりしないんだ。自分の本当の気持ちを伝えることを練習するところが、明星学園なんだよ」と。そしてご家族の方に、「今日着ているTシャツとジャージは、ご本人が選んで買ってきたものですか？」と問う。すると「とても買い物なんか、無理ですよ。どんなものでも嫌がらないで着てくれますから、いつでも母親が似合いそうなものを買ってきています」と答えが返る。自分の好きな服一つ選ぶことができなくて、輝く青春は決してやってこない。自分の人生を自分でつかみ取る、それが青春だし、それは定型発達の方も、重い知的障がいの方々も、強度行動障がいと呼ばれる自閉症の方々にとっても、ちっとも変わりやしない真実である。みんな同じ道を歩いている。

14:30～16:00 パネルディスカッション

「本人・当事者の心から特別ニーズ教育を考える」

司 会 東京学芸大学教授・学会副代表理事 加瀬進

パネリスト 長野県教育委員会事務局特別支援教育課 鶴田恵市

知的障害者施設利用者・当事者

東京学芸大学教授・学会代表理事 高橋智

参加者へのご案内

1. 参加費・参加申し込み等

参加費：会員・非会員ともに 1000 円（学部学生 無料）

事前申し込みを行いません。当日お越しの際に参加費をお支払いください。
釣銭のないようご準備ください。

2. 受付

受付は、10:30 より行います。参加者は必ず手続きを済ませてください。

3. クローク

クロークはありません。お荷物は各自で管理をお願いいたします。

4. 学会関係諸会議

理事会・機関誌編集委員会 6月2日（日）9:00～ 会場：8号館2階824教室
（詳細は後日学会事務局より連絡）

5. 昼食

昼食休憩時間を設定していませんので、適宜お食事をお済ませください。会場付近には徒歩6分（約500m）の距離にコンビニ・飲食店がございます。

6. 駐車場

大学駐車場（正門付近・8号館付近）がございますが、限りがありますのでできる限り公共交通機関をご利用ください。

若手チャレンジ研究会発表者へのご案内

- * 研究発表者は研究会開始10分前までに受付をお済ませください。
- * 開始前に発表に関する諸注意等のご案内をいたします。
- * 研究発表者は研究会開始までにPC等の動作確認を行ってください。
- * 発表時間は10分・質疑応答10分の計20分です。
- * 会場ではプロジェクタの使用が可能です。教室備え付けパソコンがご使用いただけます。ご自身のPCを使用される場合はご持参ください。
- * 補足資料の配布が必要な場合は、事前に発表者が必要部数（30部程度）を用意してください。当日、会場で印刷を行うことはできません。

基調講演・パネルディスカッション関係者へのご案内

- * 関係者は12:20より打ち合わせを行います。打ち合わせ会場は当日ご案内いたしますので、受付にてスタ

ップにお声がけください。

- * PC およびプロジェクタは教室備え付けのものをご使用いただけます。
- * ご都合がよろしければシンポジウム前のプログラムにもどうぞご参加ください。
- * 会場ではプロジェクタの使用が可能です。パソコンを使用される場合はご持参ください。
- * 事前にお送りいただいた講演資料のうち配布可能なものは、実行委員会にて印刷・配布をさせていただきます。

中間集会に関するお問い合わせ先

◎実行委員会事務局 松本大学教育学部 内藤千尋研究室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1 TEL：0263-48-7311（研究室直通）

E-mail chihiro.naito@t.matsu.ac.jp

*ご連絡はできる限りメールでお願いいたします。